

環境省・オフセット・クレジット（J-VER）制度認証委員会
（事務局：気候変動対策認証センター）御中

平成 25年7月31日

検証結果の概要報告書

検証結果の概要について以下の通り報告いたします。

対象プロジェクト名		
東京大学千葉演習林間伐推進プロジェクト～東京大学サステイナブルキャンパスプロジェクト～		
GHG 検証機関		
当該プロジェクトにおける検証を行うにあたり、当該プロジェクトに関して一切の利害関係 宣誓します。		
機関名	SGS ジャパン株式会社	
担当部署名	認証サービス事業部 森林認証部	
責任者名	今泉 俊一	
責任者 E-mail	shunichi-imaizumi@sgs.com	
責任者電話番号	045-330-5047	
審査員名 ⁱ	今泉 俊一/主任検証員（チームリーダー） 佐々木 聡子/主任検証員（レビューアー）	
機関要件への合致	ISO14064-2 プロジェクト検証/認定分野-GHG の吸収プロジェクト（森林）認定を取 得し検証機関としての要件を満たし、また暫定的な妥当性確認機関としての要件を 満たし、暫定妥当性確認機関及び検証機関としての登録を受けています。	
検証結果		
適用妥当性確認・検 証ガイドライン	オフセット・クレジット（J-VER）制度 妥当性確認・検証ガイドラインVer.2.2	
事業者との契約日	2013年4月11日	
モニタリング報告書 受領日 ⁱⁱ	2013年5月28日	
検証報告書発行日	2013年7月31日	
現地審査	期間	2013年6月11日
	審査内容	プロジェクト対象のモニタリングプロット及びモニタリングエリ アをサンプリングにて訪問し、プロジェクト計画書及びモニタリ ング報告書に記述された森林及びプロジェクトの状況から乖離が ないかについて確認した。現地審査時には担当者へのインタビュ ー、モニタリング手順及び測定機器のキャリブレーションの実施 状況及び管理状況を確認し、構築されたモニタリング体制に変更 がなく、組織の実態に即しており、適切に実行されているかにつ いて確認した。

排出削減・ 吸収量	年度	2008	2009	2010 (2010年9月1 日～2011年3 月31日、7カ月 間)	2011	2012
	t-CO2	-	-	200	424	495
検証結果の要約	<p>国立大学法人東京大学（プロジェクト代表事業者）及び東京大学千葉演習林（プロジェクト事業者）による CO2 吸収量増大（間伐促進型プロジェクト）事業に対し、モニタリング報告書中の 59 箇所の小班における 2010 年 9 月 1 日から 2013 年 3 月 31 日までの期間（2 年 7 カ月間）の吸収量情報について、合意された検証範囲、目的及び基準に基づき、合理的保証を付与する水準にて検証を実施した。その結果、モニタリング報告書に記載された吸収量情報は、オフセット・クレジット（J-VER）制度実施規則、環境省 モニタリング方法ガイドライン（森林管理プロジェクト用）Ver.4.3、方法論（R001）に基づいて作成されており、全ての重要な点に関し、適正であると認める。</p> <p>2010 年 9 月 1 日から 2013 年 3 月 31 日までの期間（2 年 7 カ月間）の当プロジェクトの吸収量総計は 1,119 t-CO2 であることを確認した。</p> <p>本検証意見は、別添のモニタリング報告書に基づくものとして解釈されなければならない。</p>					

ⁱ 審査担当者、レビュー担当者、外部専門家を含み、それぞれの役割を記載すること。

ⁱⁱ 検証機関がプロジェクト代表事業者等からモニタリング報告書を受領した日を記載すること（この日を以て当該検証の開始日とみなす）。